

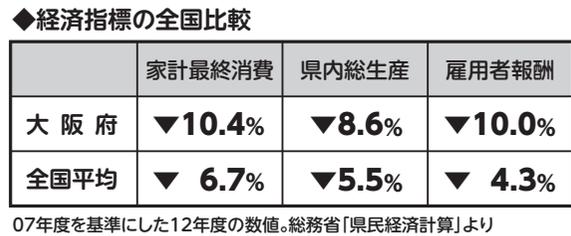
維新の失策

経済 暮らし 民主主義 が破壊!

維新政治の異常さは都構想にとどまりません。住民ほったらかしの8年間で、大阪経済は転落、暮らしと民主主義も破壊されました。何としてもダブル選挙で異常な政治を変えましょう。

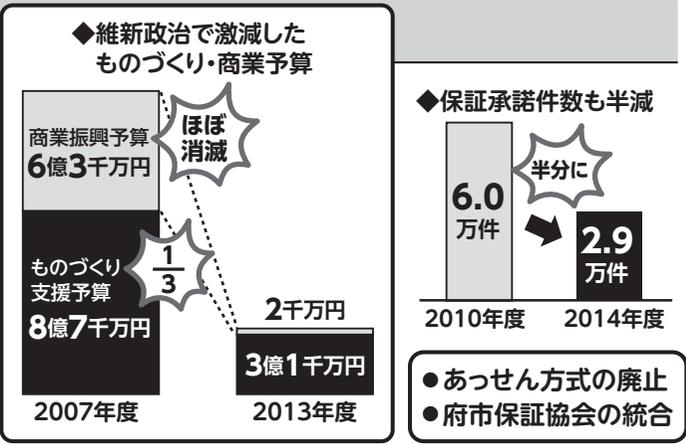
1 大阪経済転落

維新は、ウソとペテンの都構想と政争に明け暮れる反面、中小企業や暮らしの予算をバツサリ削減。その結果、「消費」「生産」「賃金」など、大阪の経済は全国平均以上に落ち込みました。経済再生にはカジノより中小企業支援こそ必要です。



2 中小企業冷遇

橋下知事就任の07年から13年度までに府の「ものづくり支援」予算は3分の1に大幅減。「商業振興予算」にいたってはほぼ消滅です。橋下市長になってからの大阪市の「中小企業支援」も4割カットです。「命綱」の融資制度も府と市の保証協会を「二重行政」でムダだとして統合。窓口を大幅縮小しました。



5 教育荒廃

「教育費を5倍にした」はごまかしで総額は横ばい。不登校は全国6位、校内暴力と高校中退率は全国1位。府立高校つぶしや5自治体で歴史をゆがめる育鵬社の教科書を採択。

6 不祥事多発

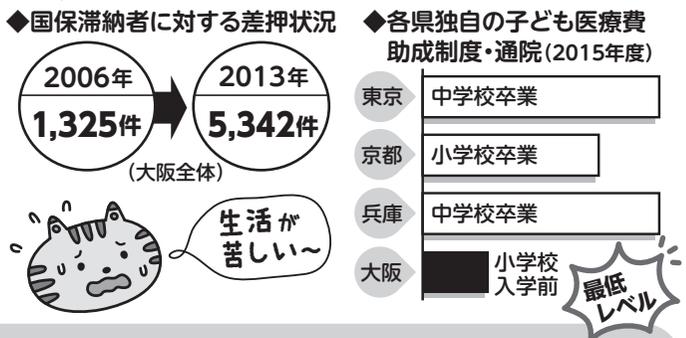
公募校長のセクハラや中原徹教育長(当時)もパワハラで辞任に。「身を切る」といいながら、維新の議員は高級車などに政務活動費を流用。政党助成金で毎月300万円を豪遊したとの報道も。

7 防災無視

小中学校の耐震化は全国34位。体育館のつり天井の落下防止策の実施は623棟中わずか6棟。土砂災害の対策は、4割の河川で整備計画すら立っていません。

3 福祉切り捨て

国保や介護保険料は連続値上げ。国保の差押さえは4倍に激増。介護保険の滞納で利用料の全額負担などの制裁は935人と大阪市がトップ。障害者・福祉団体の補助金全額カットや大阪市では住吉市民病院の廃止を強行。



4 ムダな開発推進

暮らしや福祉の予算を「ぜいたく」と言って切り捨て。削ったお金で不要・不急の鉄道、高速道路、カジノ誘致のためのインフラ整備を計画。



8 民主主義破壊

橋下氏は、「教育とは2万%強制」「政治で重要なのは独裁」…と民主主義破壊の発言を連発。都構想の法定協議会から反対派議員を排除。憲法違反の思想調査も強行し裁判では違法と断罪。

